

## プロロジス、千葉県印西市にて マルチテナント型施設 「プロロジスパーク千葉ニュータウン」の竣工式を挙

～庫内でアパレル EC 向けフルフィルメントサービスを提供する新たな取り組みも～



物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、本日、マルチテナント型施設「プロロジスパーク千葉ニュータウン」の竣工式を千葉県印西市の敷地内にて執り行いました。

竣工式には、株式会社アッカ・インターナショナル 代表取締役 加藤大和 社長、同施設への入居が決定している名糖運輸株式会社 取締役 若田部守一 統括事業部長、印西市の板倉正直 市長、千葉県企業土地管理局 加藤岡正 局長をはじめ千葉県関係者の方々、独立行政法人都市再生機構 首都圏ニュータウン本部 茂木貴志 本部長、設計施工を担当した西松建設株式会社 代表取締役 近藤晴貞 社長をはじめ関係者の方々、プロロジスからは代表取締役社長 山田御酒らが参列し、施設の完成を祝いました。

アッカ・インターナショナルは、「プロロジスパーク千葉ニュータウン」におけるプロロジスのパートナーとして、入居企業向けにアパレル e コマースのフルフィルメントサービスを提供し、プーマジャパンなど複数企業の業務を受託します。

### ■ 開発地：16号に近接し、労働力豊富な立地

開発地は首都圏から40km地点に位置し、首都圏物流の幹線である国道16号に近接しています。現在

整備が進められている国道 464 号(北千葉道路)にも近く、464 号の延伸により交通利便性は飛躍的に向上します。平成 30 年度までには成田と直結し、将来的に東京外かく環状道路と接続されるため、広域物流拠点としても期待できます。

千葉ニュータウンは、住宅街や商業施設がバランス良く立地し、働く世代が多いため労働力に恵まれています。千葉ニュータウン中央駅から同施設までは徒歩約 10 分と、通勤利便性も高く、庫内での流通加工業務の担い手を多数雇用するアパレル企業や EC 企業にとって、雇用確保の観点からも最適な立地です。また、同地は、地盤が固く、活断層の空白地帯であり、電算センターやデータセンターが多数立地するなど、防災性にも優れています。

### ■ アパレル EC に対応する高付加価値サービスを庫内で提供

「プロロジスパーク千葉ニュータウン」は、約 55,100 平方メートルの敷地に、地上 5 階建、延床面積約 128,500 平方メートルの大型施設です。上り下り専用のダブルランプウェイ、各階に 40 フィートコンテナトレーラーが接車可能なトラックバースを備え、効率の高い物流オペレーションが可能です。賃貸可能面積は 1 フロア最大約 23,300 平方メートルから最小約 4,300 平方メートルの区画まで、幅広い物流ニーズに柔軟に対応できる設計となっています。



5 階には、アッカ・インターナショナルが入居します。「プロロジスパーク千葉ニュータウン」の入居企業は、アッカ・インターナショナルが提供するフルフィルメントサービスを受けることができます。サービスの一例として、“ささげ業務”と呼ばれる通販用商品の撮影・採寸・原稿作成や、在庫管理、カスタマーサポート、物流業務などを代行します。約 20,000 平方メートルのワンフロア全体をカバー可能なささげ業務スペースには、撮影ブースなどを設置し、衣料品のモデル撮影から、e コマースサイトへの掲載、出荷から返品対応まで、すべてを「プロロジスパーク千葉ニュータウン」の庫内で完結することも可能です。



### ■ wi-fi や非常用電源を備えた働きやすい環境

倉庫スペースやオフィスなど入居企業の専有部のほかに、施設共有部として、有線放送で音楽を楽しむ wi-fi カフェラウンジや、パントリー、ミーティングスペース、コンビニエンスストアなど、休憩時間に集い、くつろげる空間を整えました。入居企業の社内パーティーなどのため、パントリーやカフェラウンジを貸し切り利用できるサービスも予定しています。

また、入居顧客の事業継続性への配慮から、緊急地震速報システムや衛星電話等が備えられます。加えて、停電時でもトイレ、通信、セキュリティー等の機能を維持できる災害用発電機や、断水時にも飲料水を供給できる地下水浄化システムを備え、立地を含めて災害に強い施設となっています。



## ■ LED や国内初の「車両誘導型照明」で節電

プロロジスは、環境負荷を低減した物流施設開発をグローバルで推進しています。その一環として、庫内を含む施設全体にLED照明を採用し、入居企業の電気代削減にもつなげます。さらに、物流施設として国内では初めて、ランプウェイを含むすべての構内道路に「車両誘導型照明」を採用しました。車両の接近を感知すると、照明の照度を上げるシステムにより、安全な通行と省エネルギーの両立を実現します。また、屋根に約2.2メガワットの大規模太陽光発電システムを導入する予定です。

## ■ 千葉県内のプロロジスパーク

千葉県内では、4月に竣工した「プロロジスパーク習志野5」をはじめ、「プロロジスパーク市川1」、「プロロジスパーク習志野4」など、「プロロジスパーク千葉ニュータウン」を含め13棟の物流施設を開発・運営中です。

プロロジスは、引き続き日本の各地域においてお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

### 「プロロジスパーク千葉ニュータウン」概要

名 称	プロロジスパーク千葉ニュータウン
所 在 地	千葉県印西市泉野1
敷地面積	55,100.91 m <sup>2</sup> (16,668.02 坪)
延床面積	128,577.77 m <sup>2</sup> (38,894.77 坪)
構 造	鉄骨造、地上5階建
着 工	2015年1月
竣 工	2016年5月

### プロロジスについて (www.prologis.co.jp)

プロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:山田 御酒、世界本社:米カリフォルニア州サンフランシスコ、NYSE:PLD)は、物流不動産の開発・所有・運営のリーディング・グローバル企業として、計6,200万平方メートル以上の物流施設をアメリカ大陸・ヨーロッパ・アジア20カ国で所有・運営・開発しています。

日本国内では今までに81棟、総延床面積約538万平方メートルの物流施設を新規開発し(開発中を含む)、現在46棟、総延床面積として約347万平方メートルの物流施設を運営および開発中です。また、約22万平方メートルの物流施設の開発用地を所有しています。今後もお客様へのよりよいサービスと、環境に配慮したサステナブルな、物流の効率化に貢献するための最新の物流施設を世界各地で展開してまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先  
プロロジス 広報室 担当:古川  
TEL:03-6860-9107 / FAX:03-6860-9020  
E-mail:sfurukawa@prologis.co.jp